



けいゆう病院

入院のご案内

この入院案内は、必要な諸手続きの方法や入院中の生活等をご理解いただくための大切なものです。

患者さんご自身はもちろん、ご家族の方も是非お読みください。

入院時には必ずお持ちください。

入院予定日 : 月 日 (曜日)

来院時間 : 時 分

来院場所 : 1 階 入院受付

※**休診日**に入院予定の方は、**1階救急受付**にお越しください。

- 入院予定日の決まっていない方は、後日電話で連絡いたします。
- 患者さんのご都合により予定時間までに来院できない場合は、入院受付へご連絡をお願いします。

1階入院受付	平 日	8:30 ~ 17:15
	土曜日 (第2・4)	8:30 ~ 12:30

夜間・休日等に緊急入院された場合は、後日、1階入院受付へお越しください。



目

次

はじめに	1
• 理念	
• 基本方針	
• 患者さんの権利	
• 患者さんの責任	
• 子どもの患者さんの憲章	
• 急性期医療に係るご理解とご協力のお願い	
入院手続	
• 入院時の持ち物	2
入院中の生活	
• 入院病棟・病室について	4
• 入院セット・タオルのご利用について	5
• ご面会の方へのお願い	
• 駐車場・駐輪場のご利用について	6
• 病棟の一日	7
• 患者さんの安全のために	9
• 褥瘡(じょくそう)スキン-テア予防にご協力ください	12
• せん妄について	13
• 入院中の感染予防対策について	14
• 各種相談について	15
費用など	
• 入院費のお支払いと退院手続きについて	16
• 入院費の計算方法（D P C方式）について	17
• 高額医療費の負担軽減制度（限度額認定証）について	18
• 個人情報保護について	20
施設など	
• 施設のご案内	21
交通のご案内	

は じ め に

理念

患者さん中心の医療

患者さんのプライバシーを尊重し、十分な説明と同意の基に愛と思いやりの心で接する医療を行います。

高度で良質な医療

常に高い医療水準を維持し、患者さんに最も適した高度な医療をより早く、より正確に行います。

安全で信頼される医療

安全管理を徹底し、患者さんが安心し、信頼と納得のできる医療を行います。

基本方針

- ・ 患者さんの権利を尊重し、病院の理念に基づいた医療を展開します。
- ・ 地域の基幹病院として、関係機関と緊密に連携協力をとり、地域の皆様方の健康増進に貢献します。
- ・ 職員は安定した病院経営に努め、一人ひとりが最大限の能力を発揮し、魅力ある病院づくりを目指します。

患者さんの権利

けいゆう病院は患者さんの権利を尊重した医療を実践します。

- 1 一人の人間として尊厳を持って接遇され、自分の意見を述べることができます。
- 2 人種や社会的立場に関わらず、平等で公平な医療を受けることができます。
- 3 自身の疾病をはじめとする個人情報やプライバシーが守られる権利があります。
- 4 理解し易い言葉や方法で、医療方針あるいは医療費、その他支援体制などの説明を受けることができます。
- 5 医療行為について、自分の意思で選択・決定することができます。また、希望しない場合は拒否することもできます。そのため、診療情報開示やセカンドオピニオンを求める事ができます。

患者さんの責任

医療が安全かつ適切に行われるために、医療従事者と力を合わせ、主体的に医療に参加することが必要です。

- 1 最大限の治療効果を発揮するために、自身の心身や生活状態に関する情報を正確に提供する責任があります。
- 2 病院内の遵守事項を守るとともに、社会的ルールを尊重し、医療環境の維持に配慮する責任があります。
- 3 医療には、医学的、経済的、倫理的にも様々な対応があることを理解し、医療従事者に協力する責任があります。
- 4 医療費を適正に支払う責任があります。
- 5 病院では、他の患者さんや病院職員に対する暴力・暴言やハラスメントなどの迷惑行為及び診療を妨げるような行為をしない責任があります。
- 6 病院では、「輸血を行わなければ生命に危険が及ぶ」と判断される場合には、医師の倫理に基づき輸血を実施する立場をとっております。

子どもの患者さんの憲章

- 1 子どもたちは、どんなときでも一人の人間として大切にされ、安心してもっとも良いと考えられる医療を受けることができます。
- 2 子どもとご家族のプライバシーはいつでも守られます。
- 3 子どもたちは、病気のことや病気を治していく方法について、それぞれの年齢や理解度に合わせて、十分な説明を受けることができます。
- 4 子どもたちは、病気のことや病気を治していく方法について、自分の気持ちや考えを病院の人や家族に伝えることができます。また、病気を治していく方法を自分で決めることができないとき、代わってご家族に決めてもらうことができます。
- 5 子どもとご家族は、病気のことや病気を治していく方法について、担当でない医師や他の病院の医師に相談を求めることができます。
- 6 子どもと家族と一緒に過ごす時間、子どもたちの遊ぶ時間や勉強する時間を大切にします。
- 7 子どもとご家族は、みんなが気持ちよく過ごすために、病院の約束を守る責任があります。

急性期医療に係るご理解とご協力のお願い

当院は、急性期医療の役割を担っています。病状の不安定な患者さんを速やかに受け入れられるよう病床を確保しておく必要があります。
このような理由から、病状が安定された患者さんにはなるべくご自宅や他の医療施設などで療養されることをお願いしています。

入院時の持ち物

1 入院受付にお持ちいただくもの

- ☐ 入院同意書・入院保証書・実費徴収に関する同意書
入院保証書は、必ず連帯保証人をご記入ください。
※ 医療費後払いサービスをご利用される場合、連帯保証人は不要です。
- ☐ マイナ保険証又は健康保険資格確認書・各種医療証の原本
 - ・ 上記証書のご提示がない場合、自費扱いとなります。
 - ・ 労務災害・交通事故の方及び各種助成金をご利用される方は、必ず証明書を窓口へ提出してください。
- ☐ 高額療養費限度額認定証（原本） P18参照
70歳未満の方は、入院前にご加入の健康保険の保険者（社会保険・国民健康保険等）に発行依頼をしていただき、入院時に原本をお持ちください。
※ 病院が患者さんの情報をオンラインで資格確認することに同意していただいた場合は必要ありません（対応していない健康保険組合があります。）。

2 病棟にお持ちいただくもの

- ☐ 診察券（入院中は病棟でお預かりします。）
- ☐ 同意書（手術・検査等のある方）
- ☐ 入院診療計画書（入院決定時に外来で渡されている方のみ）
- ☐ 退院証明書（当院を含め3か月以内に入院され、退院時に受領した方のみ）
- ☐ 現在使用中のお薬（入院が予定されている日数分）
 - ・ 飲み薬、貼り薬、塗り薬、目薬、インスリン等の注射薬など全て含みます。
 - ・ 入院予約時、薬剤師より説明を受けた方は指示どおりに持参してください。
- ※ 入院中は、許可なく他院への受診や他院からの薬の処方を受けられません。
- ☐ お薬手帳・お薬説明書
- ☐ 入院のご案内（このパンフレットです。）
- ☐ 衣類レンタルセットのご利用について
入院の際に必要な衣類・タオル類・紙おむつ類をレンタルでご利用できる「入院セットプラン」をご用意しております。
- ☐ イヤホン（4人床をご利用される方）
テレビをご覧になる場合は、イヤホンをご利用ください。
- ※ 衣類レンタルセット及びテレビを利用するには、委託業者との直接契約が必要です。手続きは、それぞれ各業者へ直接お申し込みください。
- ☐ 室内履き（運動靴タイプ）
スリッパやサンダルは転びやすいため入院中は使用しないでください。
- ☐ マスク
着用は任意といたしますが、入院中は着用を推奨しております。



- ☐ 下着類
入院日数に応じてご用意ください。
- ☐ 洗面用具（歯ブラシ・ボディソープ・シャンプー・リンス等）
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 眼鏡・補聴器保管ケース
- ☐ 義歯保管ケース



- ※ 持ち物には名前のご記入をお願いします。
- ※ 日用雑貨は病院内のコンビニエンスストアでも販売しております。
- ※ つけ爪（ジェルネイル）は診療の妨げになりますので必ず外してください。
- ※ 眼鏡・補聴器・義歯は自己の責任において管理をお願いします。

3 スマートフォン・携帯電話について

- ・ マナーモードでの使用をお願いします。
- ・ 4人床での通話をご遠慮（指定場所をご利用）ください。
- ・ 保管管理については、ご自身で責任をお持ちください。
- ・ マナーが守られない場合、院内での使用を中止させていただく場合もあります。



4 物品の持込みに際しての注意点

当院では、危険物や他の患者さんの療養環境に悪影響を及ぼすおそれのある物品、入院に必要な嗜好品その他の持込みを禁止しています。
患者さんの症状により持込みが制限されるものもありますので、あらかじめご相談いただくようお願いします。

5 モバイルバッテリーの持込みについて

熱や衝撃を加えると発火しやすいと言われています。
取扱いには十分注意をお願いします。



～ 以下のものの持込みは、ご遠慮ください。 ～

※病棟ではお預かりしていません。

- ・ 危険物
はさみ・ライター・カミソリ・刃物・ドライバー等
- ・ 寝具・クッション類
- ・ 電化製品
テレビ・電気ポット・ヘアドライヤー等
- ※ ヘアドライヤーや爪切りなどは病棟で貸し出しできます。
- ・ 多額の現金や貴重品等(高価な時計・指輪などの貴金属類等)
- ※ 紛失や盗難事故防止のため、お持ちにならないようお願いします。
紛失や盗難事故が発生した場合でも当院では責任を負いかねます。
- ・ 嗜好品
アルコール類・タバコ（電子タバコ等を含む。）等



上記以外にも危険・不必要と思われる物の持込みはご遠慮いただく場合があります。

入院病棟・病室について

- 1 病室の利用状況により、入院予定の診療科病棟ではない場合があります。
- 2 手術前後や治療上の都合により、お部屋等の移動をお願いすることがあります。
- 3 特別室、個室をご希望の方は、入院予約時にお申し出ください。
- 4 入院後のお部屋の希望については、早めに病棟看護師にお申し出ください。
ただし、ご希望に添えない場合もあります。
- 5 4人床の彩光と安全面を考慮し、日中は窓側のカーテンを開けさせていただきます。
- 6 入院費の計算は、午前0時を起点に日数計算をいたします。

室 別	室料（1日・税込）	設 備	
特室A	66,000 円	・シャワー室 ・洗面台・トイレ	・応接セット ・電動ベッド・寝具
特室B	60,500 円	・ユニットバス （浴槽・トイレ）洗面台	・テレビ（無料） ・冷蔵庫（無料）
個 室	33,000 円	・シャワー室・トイレ・電動ベッド・寝具 ・テレビ（無料）・冷蔵庫（無料）	
4人床 窓 側	3,300 円	・室内共用シャワー室・室内共用トイレ ・電動ベッド・寝具 ・テレビ、冷蔵庫（有料セット）	
4人床 廊下側	0 円		

※ 4人床室（窓側・廊下側）でテレビや冷蔵庫を利用するには、委託業者との直接契約が必要です。手続きは、各業者へ直接お申し込みください。

特室A



特室B



個 室



4人床



- ※ 産科については、「産科入院の方へ」（別資料）を参照ください。
- ※ 4階・6階と重症病床は、窓側の選択ができません。
- ※ 病状や空床状況によっては、窓側を選択できない場合があります。

セフティボックスについて

- 1 やむを得ず現金・カード・貴重品を持込みされた場合は、必ずセフティボックスに保管してください。紛失・盗難等に際しては責任を負いかねます。
- 2 ベッドを離れる場合は施錠し、カードキーをお持ちください。



施錠後は、青色から橙色に変わります。

- 3 手術・検査等でご自身がカードキーをお持ちになれない場合で、ご家族等がいらっしゃる場合は看護師にお預けください。
- 4 カードキーの紛失・盗難の際は、すぐに看護師などへお知らせください。

入院レンタルサービスのご案内

入院中の快適な環境づくりのため、便利な「日額定額制レンタルサービス」をご用意しております。詳細は別添のパンフレットをご確認ください。

- 衣類・タオル類・紙おむつ類をご利用いただける入院セットプラン
- 病室でテレビや冷蔵庫をご利用いただける日額定額制レンタルプラン

ご利用に関する詳細やお手続き方法は、別添のパンフレットをご覧ください。

ご面会の方へのお願い

	平 日	土・日・祝日
面会時間	15:00～19:00	13:00～17:00
受付場所	1 階 西 玄 関 脇	

- ※ ICU、6階病棟及び8階小児科病棟の面会時間は、各病棟へご確認ください。
- ※ 感染流行状況により予告なく変更となる場合があります。

1 面会について

- ・ 1階西玄関脇の面会受付で手続きをしてください。
- ・ 面会ストラップを首から下げて見えるようにしてください。
(不審者を識別するためです。ご協力をお願いします。)
- ・ お帰りになる際は、面会ストラップを面会受付までお返しください。
- ・ 院内ではマスクを着用し、手指消毒、検温を行ってください。
- ・ 発熱がある方は面会を控えてください。
- ・ 広くゆったりとしたデイルームをご利用ください。
- ・ 4人床でご面会の際は、カーテンをお閉めください。
- ・ 他の患者さんの迷惑にならないようにお願いします。
- ・ 病室内での飲食は行わないでください。
- ・ 特別な事情により定められた面会時間以外にご面会を希望される方は、病棟のナースステーションにご相談ください。



2 電話照会や取次ぎについて

- ・ 電話による患者さんに関する照会（入院しているか否か・病室番号・病状などの問合わせ）や取次ぎには対応していません。
- ・ 関係者の方への連絡は、ご家族の方からお願いします。



3 配送物の受領

- ・ 患者さん宛ての配送物（書簡・ハガキを除く。）の受取りはお断りしています。



駐車場・駐輪場のご利用について

入院される患者さん専用の駐車場（割引を含む。）・駐輪場はありません。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

～ ご家族の駐車場・駐輪場料金について ～

下記の理由により来院されたご家族の駐車場料金は**割引**・駐輪場料金は**無料**となります。

- ・ 医師からの連絡により手術の説明を受けるため来院された家族
- ・ 手術当日に家族立合い等のために来院された家族
- ・ 入退院のために送迎された家族

※ 駐車場をご利用の場合は、「駐車カード」を病棟師長等にして割引対象者の確認印を受け、1階総合案内（夜間・休日は救急外来）に提出してください。

※ 駐輪場をご利用の場合は、1階総合案内（夜間・休日は救急外来）にお声掛けください。

駐車場利用料金	最初の4時間まで	540円
	4時間を超えた場合 以降30分ごと	270円



病棟の一日

病棟や個々の患者さんの状況により多少異なります。

6 : 00 起床 	看護師が尿や便の回数などについてお聞きします。 血液検査等が必要な場合は朝食までに伺います。
8 : 00 朝食 	食前に検査や薬のある方は忘れないようにしましょう。
8 : 30 環境整備	本日の担当看護師を紹介します。 ベッドを整え、ベッド周りをきれいにします。 
10 : 00 臨時検査 清潔ケア等	身体をきれいにし気分転換を図りましょう。 ご自身でできない方は看護師がお手伝いします。 検査や処置等により、午後になる場合もあります。
12 : 00 昼食 	食前に検査や薬のある方は忘れないようにしましょう。
13 : 00 面会時間開始	土・日・祝日（平日15:00～） 感染の状況等で予告なく変更になる場合があります。
14 : 00 検温 	症状をお聞きしたり体温などを計ります。 食事の摂取量、尿や便の回数などについてお聞きします。
16 : 30	日勤から夜勤の看護師に交代します。
18 : 00 夕食 	食前に検査や薬のある方は忘れないようにしましょう。
臨時検温	手術後や発熱している方など必要に応じて検温します。 食事の摂取量などについてお聞きします。
22 : 00 消灯 	廊下やお部屋の電気が消えます。 テレビの使用はご遠慮ください。
翌朝	～翌朝まで看護師が定期的に巡回します。～ 就寝後にも治療処置を安全に行うためにネームバンド による患者認証をさせていただくことがあります。

1 食事

- ・ 医師の指示により治療食になる場合があります。
- ・ アレルギーを起こす食品がある場合、早めに申し出てください。
- ・ 主食を**お粥**や**パン食**へ、また1/2量への変更が可能な場合があります。
- ・ おしぼり、箸（必要時スプーン等）、お茶を一緒に配膳します。
- ・ 食札に「氏名」等が記入されていますので食べる前にご確認ください。
- ・ 食事はデイルーム（電子レンジ・トースターあり）で食べることができます。

2 入浴

- ・ 病状により入浴には主治医の許可が必要となる場合があります。
- ・ 病棟により利用方法が異なりますので入院後に説明します。

3 Wi-Fi接続サービス（有料）



- ・ 病室及び院内の一部においてWi-Fiが利用できます。
- ・ 利用を希望される際は職員にお声掛けください。チラシをお渡しします。

4 外出・外泊（原則禁止となっています。）

- ・ 外出、外泊は、**主治医の許可**が必要となります。
- ・ 主治医の許可が出た場合は、「許可願」に記入の上、「許可書」をもって外出していただきます。

※ 無断で院外に出られますと治療や看護に支障をきたす場合があります。
「無断外出」としてご家族等に連絡させていただきます。
見つからない場合は警察に連絡することもあります。

- ・ 病棟を離れるときは必ず担当の看護師に声を掛けてください。
- ・ 病院の食事が不要になる場合は、早めに看護師へお知らせください。
- ・ 帰院の際は必ず看護師に声を掛け「許可書」を返却してください。
- ・ やむを得ず外出・外泊の帰院時間が遅れる場合は必ず病棟に連絡ください。

5 診療体制・研修機関

- ・ 医師は診療科別に主治医を決めています。
- ・ ※ **夜間及び休日は必要に応じて当直医が診療を行います。**
- ・ 当院は教育機関として医学生及び看護学生の教育実習を行っています。
実習は指導者の監督下で行われますのでご協力をお願いします。



※ 従来のテレビカード方式から、日額定額制のレンタルサービスへ変更となりました。テレビカードの精算をご希望の場合は、1階の精算機にてご精算いただけます。

患者さんの安全のために

- 1 医療安全活動推進における患者参加について
- 安全な医療を提供するためには、患者さんやご家族と、医療者との間で相互の信頼関係を築き、医療安全の取り組みに積極的に参加していただくこと（患者参加）が重要だと考えています。
- 医療安全のパートナーとして、患者参加の取り組みにご協力をお願いします。



① 氏名確認にご協力ください

○ 氏名の確認

- ・ 診察や処置、検査・手術などをお受けになる際には、患者さんご自身にお名前をフルネームで名乗っていただきます。何度も氏名をお尋ねすることがありますが、ご了承ください。
- ・ 患者さん自身にも氏名の確認をお願いしています。

- * 点滴、輸血、採血実施時には、医療者と共にラベルに記載された氏名の確認
- * 書類や薬剤をお渡しする際には、職員と共に氏名の確認 など

○ ネームバンドの装着

- ・ 入院時には、手首にネームバンドの装着をお願いしています。ネームバンド装着時には、氏名、生年月日を看護師と共に確認をお願いします。
- ・ 夜間入眠された後でも、注射実施の際はネームバンドでバーコード認証をします。入眠を妨げないよう留意しますが、ご理解をお願いします。
- ・ 新生児の場合は足首、小児病棟では装着が困難な場合のみ、ベッドなどに貼付している場合もあります。

- ※ ネームバンド装着で、アレルギーの様な症状や肌を傷つけた場合には、医師・看護師にお知らせください。



② 手術・処置・検査部位の確認にご協力ください

- ・ 手術、処置、検査、点眼薬投与などで、左右間違いや部位の間違いを防止するために、患者さんにも部位の確認をお願いしています。
- ・ 手術、処置、検査の前に、実施部位にマーキング（目印を付ける。）をすることがあります。

③ アレルギー予防にご協力ください

- ・ 食物・薬剤・造影剤・金属などにより、アレルギー症状の経験がある場合には、医師、看護師、薬剤師などにお知らせください。
- ・ アレルギーカードなどをお持ちの方は、ご提示もお願いします。

④ 病状や過去の治療歴について教えてください

- ・ 現在の病状や、過去の治療歴については、患者さん自身しか知らない情報であり、治療上とても重要なものです。なるべく正確に、教えてください。

⑤ 薬の確認にご協力ください

- ・ 普段内服している薬が、手術や検査に影響することがあります。服用している薬がある場合には、必ずお持ちください。
- ・ お薬手帳や薬剤の説明書がありましたら、お持ちください。
- ・ 処方薬を受け取った場合には、氏名や内容を確認してください。また、飲み方がわからない場合には、遠慮なくお知らせください。



⑥ 検査結果の確認にご協力ください

- ・ 入院前、入院中に実施した検査で、結果をお聞きになっていないものはありませんか。結果確認の見落としを防止するためにも、患者さんご自身からも検査結果について確認していただけると助かります。

⑦ 不安や疑問に思うことは質問してください

- ・ 安全な医療を提供するために、わかりやすい説明を心掛けていますが、医療行為に対して不安や疑問を感じる場合があるかもしれません。その際には、遠慮なく医療者にお話ください。
- ・ 診療に関する希望や考えなども、遠慮なく医療者にお話ください。
- ・ 医師からの説明については、患者さんだけではなく、ご家族も同じように理解し、納得して医療を受けられるように、なるべくご家族の方などと一緒に聞きください。

※ 複数のご家族が個々に来院され、同じ説明を求めることはご遠慮ください。

⑧ 転倒・転落の予防にご協力ください

- ・ 入院中は、病気やけがによる体調や運動機能の変化、環境の変化、治療や薬剤の影響などから思いがけない転倒や転落が起こることがあります。特に高齢の方は、入院中、ご自身で思っている以上に転びやすい状態となることがあり、注意が必要です。
- ・ 転倒・転落により、骨折や頭部打撲など生命に関わる重大な状況が発生することがあります。安全な入院生活のために、必要に応じて患者さん及びご家族と情報を共有し、対策を検討させていただきますので、ご協力をお願いします。

※ 入院の際、看護師よりパンフレットを用いて詳しくご説明します。

※ 入院の際には、スリッパはお控えください。かかとが覆われた、サイズの合った靴をご準備ください。



2 身体拘束について

◆ 身体拘束最小化に取り組んでいます。

当院では、患者さんの尊厳と主体性を尊重し、緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束をしない医療・看護の提供に努めています。しかし、以下の様な緊急やむを得ない理由が生じた場合には、患者さんの安全を確保するために、必要最小限の身体拘束等を行なう場合があります。解除に向けた検討をしながら、患者さんの安全を守っていくように努めます。

あらかじめ説明をして、ご承諾をいただいたうえで実施させていただきますが、緊急の場合には事前の了承がない場合でも身体拘束をすることがありますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

- 緊急やむを得ず身体拘束を行なう場合の三原則
 - ・ 切迫性 : 患者、又は他の患者の生命、若しくは身体が危険にさらされる可能性が高いこと。
 - ・ 非代替性 : 行動制限以外に、患者の安全を確保する方法がないこと。
 - ・ 一時性 : 行動制限は一時的なものであること。

- 身体拘束等の理由
 - ・ ベッド等から転落の危険がある場合
 - ・ 点滴や各種チューブ類を抜く危険があり、目的とした治療に支障をきたす場合
 - ・ 患者さんご自身あるいは他の者への身体の危険が著しく高い場合
 - ・ その他、検査・治療の際に危険な行動が予測される場合など

※ 状況が改善した場合には、速やかに解除します。

3 迷惑行為

- ・ 大声を出したり、みだりに他の病室等へ出入りすることはご遠慮ください。
- ・ 身体的暴力、暴言、セクハラ行為、病院敷地内での飲酒・喫煙（電子タバコ等を含む。）等を行った場合は、ご病状等に関係なく即刻退院していただくこともあります。
- ・ 火気厳禁～各部屋には酸素パイプがひかれています。
- ・ 消灯後の照明の点灯やテレビの視聴などは同室の患者さんの迷惑となります。
- ・ 病院及び敷地内での撮影・録音・録画は禁止しています。



4 災害発生時（火災・地震発生時）の対応

- ・ 火災、地震等の災害が発生した場合は一斉館内放送を行います。
- ・ 避難を必要とする場合は職員が誘導します。連絡があるまでお待ちください。
- ・ 非常口、避難経路はあらかじめご確認ください。
- ・ 避難時は貴重品以外の荷物は持たないでください。
- ・ 動けない方は職員が避難誘導します。そのままお待ちください。
- ・ エレベーターは使用しないでください。



○ 火災発生時

- ・ 職員が避難誘導を行います。職員の誘導に従って避難してください。
- ・ 避難する時はなるべく煙を吸わないように低い姿勢となってタオルなどで口や鼻を覆ってください。

○ 地震発生時

- ・ 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身の安全を最優先に行動してください。
- ・ 窓ガラスが破損する場合がありますので、窓から離れてください。
- ・ 病室から飛び出さないでください。
- ・ 物が「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」場所（空間）に身を寄せ、揺れが落ち着くまで待機してください。



褥瘡（じょくそう）スキン-ケア予防にご協力ください

1 褥瘡とは

褥瘡（じょくそう）は、体の一部が長時間圧迫されることで血流が悪くなり、皮膚やその下の組織に傷ができる状態です。一般的には「床ずれ」と呼ばれています。寝たきりの方だけでなく、車いすの使用やマスク・チューブなどの医療機器による圧迫でも起こることがあります。

2 褥瘡がしやすい方

- ☐ 自力で寝返りがうてない ☐ 失禁や発汗などで皮膚が湿っている
- ☐ 6時間を超える全身麻酔の手術を受ける ☐ 医療機器を使用している
- ☐ 食事や水分が十分にとれず、栄養が不足している

3 褥瘡がしやすい部位

おしり、かかと、背中、ひじなど、骨が出ている部分は褥瘡がしやすい場所です。寝ている姿勢や体の向きによって、しやすい場所は異なります。また、マスクやチューブなどの医療機器が皮膚に当たる部分にも注意が必要です。

4 褥瘡を予防するために

- ☐ 状態に合わせて体の向きを変えたり、適切なマットレスやクッションを使用します。
- ☐ 皮膚の赤みや傷、痛みなどがある場合は、すぐに看護師へご相談ください。
- ☐ 患者さんの状態に応じて、医師・看護師・褥瘡対策チームが連携して予防や治療を行います。

5 スキン-ケアとは

スキン-ケアとは、摩擦やずれによって皮膚が裂ける状態（皮膚裂傷）です。特に高齢の方に多く見られ、着替えや移動などのわずかな動作でも起こることがあります。一度できた方は再び起こることがあるため、日頃から皮膚を守るケアが大切です。

6 スキン-ケアを予防するために

- ☐ 皮膚の乾燥を防ぐため、入院前から保湿ケアを行いましょう。入院時は普段使用している保湿クリームなどをお持ちください。
- ☐ 皮膚が弱く傷つきやすい方は、長袖・長ズボン、靴下、アームレッグカバー等で皮膚を守ることもおすすめです。
- ☐ ベッドや車いす周辺の物にぶつからないよう、移動時は注意しましょう。
- ☐ 保湿剤やアームカバー等は売店購入できます。必要な方はスタッフへご相談下さい。

せん妄について

1 せん妄とは

入院すると『せん妄』を起こすことがあり、以下のようなことが原因で、一時的に意識が混乱することがあります。

□ 全身状態が悪い □ 手術のあと □ 脳、心臓、呼吸の病気で重症な状態

せん妄になりやすい方

□ 高齢 □ 物忘れが目立ってきた □ 脳梗塞や脳出血になったことがある
□ せん妄になったことがある □ アルコールや睡眠薬を飲む習慣がある

せん妄のときの身体の変化や特徴（すべての方に見られるわけではありません）

□ 場所や時間がわかりにくくなる □ 実際にはないものが見えたり、聞こえたりする
□ 睡眠のリズムが乱れる □ 落ち着きがない、そわそわする
□ 話のつじつまがあわない □ 治療のための管を抜いてしまう
□ 荒っぽくなったり、怒りっぽくなったりする



せん妄を治療しないと、治療中の身体の病気に影響したり、入院期間が延長したりすることがあります。

※上記の症状に気づかれた場合は、医師、看護師にお知らせください。

2 せん妄の予防と対応について考える

せん妄は、身体の病気による症状であり、認知症や精神疾患とは異なります。

「気の持ちよう」や「こころの問題」ではありません。適切な治療を行えば症状が改善するといわれています。

せん妄予防のポイント

□ 日付や場所の確認をしましょう

※時計やカレンダーを近くに置く

□ 睡眠覚醒リズムを整えましょう

※日中の活動の助けとなるもの（本、新聞、テレビ、ラジオ、軽い運動など）を活用する

※朝から日光を取り込んで部屋を明るくする

□ 普段使用している眼鏡、補聴器は正しく着用しましょう



2 ご家族の方へ

- ・ つじつまの合わない話があったとき、「おかしい」と指摘すると、患者さんの気持ちを傷つけることがあります。お困りの時にはスタッフへお声がけください。
- ・ 痛みや便秘など、患者さんが気になっている症状も早めにスタッフへ相談しましょう。
- ・ ご家族がそばにいただけで患者さんは安心されます。普段通りの言葉かけをお願いします。



入院中の感染予防対策について

病院には感染しやすい患者さんが多くいらっしゃいます。職員も感染予防を実施しますが、患者さん及び面会の皆様にもご協力をお願いします。

1 手指衛生について

手指の清潔を保つために手指衛生を行いましょう。

- 石けんを使った手洗い
食事の前、トイレの使用後
- アルコールでの消毒
病室へ出入りする際、面会の前後



※ 病室入口にアルコール消毒剤を設置していますのでご利用ください。

2 マスクの着用について

着用は任意といたしますが、入院中は着用を推奨しております。

鼻水や痰を取ったティッシュペーパーはごみ箱へ捨て、手指衛生を行ってください。



3 入院中の感染症に関する対応について

免疫力が著しく低下している患者さんや、感染症のある患者さんは感染予防に配慮した病室への移動をお願いする場合があります。

同じ病棟内などで他の患者さんに感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、結核、薬剤耐性菌の検出など）が判明した場合、必要に応じて感染症の検査や予防的に投薬を行う場合があります。

その際は職員より対応について説明いたします。

4 その他

身近（家庭・学校・職場など）に感染性胃腸炎、インフルエンザ、風疹、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、水痘（みずぼうそう）などに感染している方がいる場合、職員にお知らせください。



各種相談について

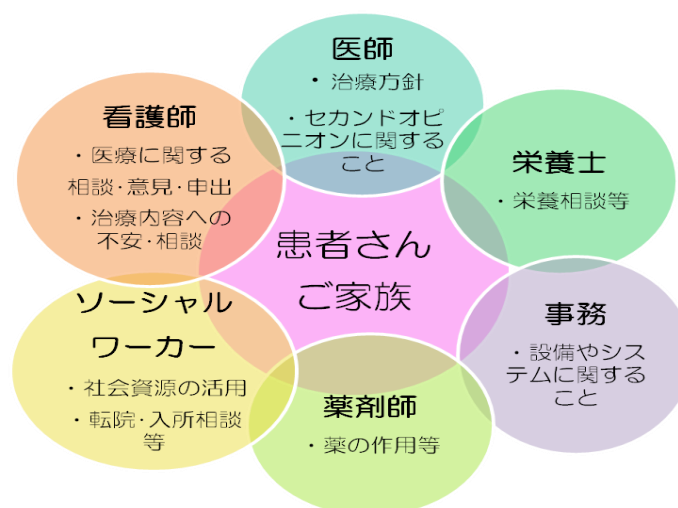
入院中のご相談は、先ず、**主治医、病棟師長、担当看護師** にお話してください。
内容により各相談担当へご案内します。

1 総合相談窓口のご案内

受付時間	平 日	9:00～17:00
	土曜日（第2・4） ※休診日を除く	9:00～12:30
場 所	1階 総合相談窓口	
相談方法	面接 または 電話	
料 金	無 料	
予 約	事前予約が可能です。	

ご相談によって専門の担当者が連例し対応します。

- ・ 医療福祉等に関する相談
- ・ 医療安全等に関する相談
- ・ がんに関する相談
- ・ 要望、意見など



2 セカンドオピニオン

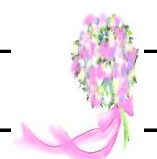
入院中または外来通院中に「他の病院の医師の意見も聞いてみたい。」
というご希望がありましたら遠慮なくご相談ください。
診療情報提供書など必要なデータを提供します（有料）。



3 がん相談支援センター

「がん」に関する様々な疑問や悩みの解決に向けて対応しています。

場 所	がん相談支援センター
電 話	045-221-8117（直通）
担 当	がん相談専門相談員（看護師・社会福祉士等）



入院費のお支払いと退院手続きについて

1 入院費の請求

- 入院費は毎月月締めで計算し、請求書を翌月11日頃、病室へお届けします。1週間以内にお支払いをお願いします。
- 入院費のお支払いには、クレジットカード（下記カード）がご利用になれます。1階会計窓口にてご相談ください。

AMEX	DC	Diners Club	JCB
NICOS	UFJ	Master Card	VISA

- 当院では、クレジットカードをご登録いただくことにより、お会計の手間を省略及びご退院時等の精算等をお待ちいただくことなく、そのまま帰宅できる「**待たずにラクーダ**」をご利用いただけます。

2 退院手続きと精算

- 退院前日に病室に伺い、概算額をお知らせします。
- 精算は、退院日の午前9時30分から1階会計窓口をお願いします。
- 領収書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 退院当日に検査や処方等があり請求に間に合わない場合は、後日、追加請求をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

精 算 場 所	1階 会計窓口	平 日	9:30～17:00
		土曜日（第2・4）※ 休診日を除く	9:30～14:00

上記以外の時間帯、休診日は入院費の精算をすることができません。

休診日の退院会計につきましては、次回外来時等の上記時間内に改めてご精算をお願いします。

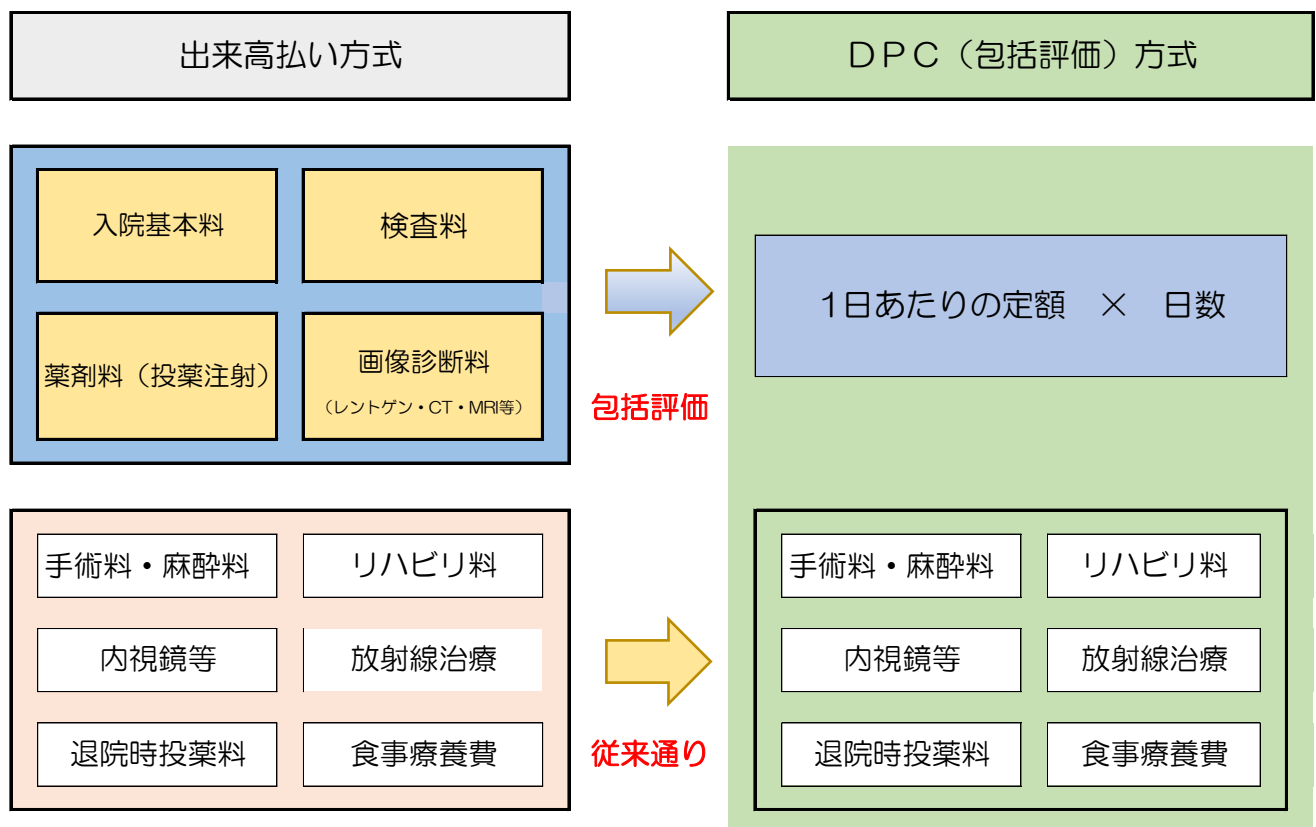
退院時に、病棟で診察券・お薬など、必要なものをお返ししているかを確認してご退院ください。

- 次回の外来受診日が不明の場合は、予約日時の確認をしてご退院ください。
- 各種診断書・証明書を必要とする方は、退院前日より1階の書類窓口へ診察券又は診察券番号の分かるものをお持ちになり申込みください（保険会社指定の用紙がある場合がありますので、事前にご確認ください。）。
- 各種診断書の作成には、3週間程度を要します。

申 請 場 所	1階 書類窓口	平 日	8:30～17:15
		土曜日（第2・4）※ 休診日を除く	8:30～12:30

入院費の計算方法(DPC方式)について

- 1 当院は、厚生労働省の定めるところにより入院費は「DPC（包括評価）方式」で計算しています。
 ※ 従来の診療内容（検査・薬・レントゲン等）を計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院される病名の種類や手術・処置等の内容（診断群分類）に応じて定められた1日あたりの定額の点数からなる包括評価（入院基本料・投薬料・注射料等）と出来高評価（手術料・麻酔料等）を組み合わせる入院医療費を計算する方法です。



- 2 「1日あたりの定額」は、入院患者さんの病名や症状をもとに、手術の有無や合併症の有無・処置の状況に応じて、厚生労働省が定めた「診断群分類」ごとに決められており、入院基本料・投薬・注射等が包括されます。
- 3 入院される病名の種類や診断内容によっては、「出来高払い方式」となる場合もあります。
- 4 労務災害・公務災害・自賠責・正常分娩・治験等でのご入院は、「出来高払い方式」となります。
- 5 入院後の病状の経過や治療内容により、入院中に入院費が変更になる場合があります。その場合は、退院時等に前月までのお支払い額を調整させていただきます。

高額医療費の負担軽減制度（限度額認定証）について

ご入院される前にお手続きをお願いいたします。

入院や手術等で医療費が高額になった場合に、医療機関等の窓口で支払う金額を自己負担限度額までに抑えるための証明書です。

マイナ保険証を利用すれば、事前の手続きなく、高額療養費における自己負担額を超える支払いが免除されます。

- ※ 自己負担限度額は、患者さんの年齢や所得に応じて定められています。
- ※ オンライン資格確認により病院が確認することに同意していただいた場合、またはマイナンバーカードの提示をした場合は認定証のご提示は必要ありません。
（保険組合によってはオンライン確認に対応していない場合があります。その際には限度額認定証の提出をお願いいたします。）

70歳未満の自己負担限度額(月額)

令和8年8月より変更

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）
ア	年収1,160万円～ 健保：標報83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	270,300 円 + (医療費 - 901,000 円) × 1%
イ	年収約770万円～約1,160万円 健保：標報53万～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	179,100 円 + (医療費 - 597,000 円) × 1%
ウ	年収約370万円～約770万円 健保：標報28万～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	85,800 円 + (医療費 - 286,000 円) × 1%
エ	～年収約370万 健保：標報26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	61,500 円
オ	住民税非課者	36,900 円

70歳以上の自己負担限度額(月額)

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）	
		外来（個人ごと）	
現役並み	年収1,160万円～ 標報83万円以上/課税所得690万円以上	270,300 円 + (医療費 - 901,000 円) × 1%	
	年収約770万円～約1,160万円 標報53万円以上/課税所得380万円以上	179,100 円 + (医療費 - 597,000 円) × 1%	
	年収約370万円～約770万円 標報28万円以上/課税所得145万円以上	85,800 円 + (医療費 - 286,000 円) × 1%	
一般	年収156万～約370万円 標報26万円以下/課税所得145万円未満等	22,000 円 [年216,000 円]	61,500 円
非課税等	Ⅱ 住民税非課税世帯	11,000 円	25,700 円
	Ⅰ 住民税非課税世帯（年金収入80万円以下など）	8,000 円	15,700 円

- ※ 保険適用外の治療や保険外負担（食事代・差額室料等）は別途費用が発生します。
- ※ 入院費用のお問い合わせは、1階会計窓口へお声掛けください。

例) ひと月あたりの総医療費(保険分)を100万円とした場合

例

標準報酬月額28万~50万円【ウ】の方が
限度額認定証を使用した場合(70歳未満)

← 100万円 →

70万円 保険給付 70%	30万円 自己負担 30%
---------------------	---------------------

$85,800円 + (1,000,000円 - 286,000円) \times 1\%$

= 92,940円

総医療費金額

* 差額の207,060円は、各保険者から病院に直接支払われます。

* 限度額認定証の提示がない場合は、一度3割負担分のお支払いをしていただき、後日、保険組合・市町村より高額療養費の還付を受けることになります。

※ 一般的な所得の方を例に挙げています。患者さんの所得次第では上記金額以上の負担金が発生することもあります。予めご了承下さい。

注意事項

- 1 入院料と外来診療料はそれぞれの限度額までお支払いが必要になります。
(入外診療費の合算はできません。) ※ 70歳以上の現役並み所得者を除く。
- 2 月をまたいでの合算はできません。
- 3 診療月の翌月にご提示された場合、保険請求の関係で診療費の還付をお断りする場合があります。

限度額認定証の発行手続き等は・・・

ご加入されている健康保険組合、社会保険事務局等(国保保険加入者は、
住所地の市区町村窓口)へお問い合わせください。

※ 制度の詳細については・・・ 厚生労働省ホームページ

※ 横浜市国保の手続き等については・・・ 横浜市ホームページ

入院中における他の医療機関への受診について

原則、入院中は、他の医療機関での診察や投薬などで健康保険を使用できません。
患者さんの全額負担となる場合があります。

必ず事前に担当医師または看護師にご相談ください。

個人情報の保護について

当院は患者さん中心の医療、高度で良質な医療、安全で信頼される医療を受けていただくために日々努力を重ねております。「患者さんの個人情報」につきましても適切に保護・管理することが非常に重要であると考えております。

そのため当院では、以下の個人情報保護方針を定め確実な履行に努めます。

1 個人情報の収集について

当院が患者さんの個人情報を収集する場合は、患者さんの診療・看護等の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了承を得た上で収集いたします。

2 個人情報の利用および提供について

- 当院は患者さんの個人情報の利用につきましては、以下の場合を除き使用目的の範囲を超えて使用いたしません。
 - ・ 患者さんの了解を得た場合
 - ・ 個人をあらゆる方法をもってしても識別あるいは特定できない状態にして利用する場合
 - ・ 法令等により提供を要求された場合
- 当院は法令の定める場合を除き、患者さんの許可なくその情報を第三者に提供いたしません。

3 個人情報の適正管理について

当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報の漏えい、紛失、破壊、改ざん又は患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4 個人情報の確認・カルテ開示について

当院は、患者さんの個人情報について患者さんが開示を求めた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も調査し適切に対応いたします。

5 法令の順守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

6 個人情報の同意について

情報提供について同意いただけない事情がある場合にはお申し出ください。申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。

※ 申し出た内容については、いつでも撤回、変更等を行うことができます。

施設のご案内

13	F	レストラン	
12	F	病 室	
6		リハビリテーション科・保育園	
5	F	手術室・ICU・麻酔科外来	
4	F	精神科・緩和ケア内科・生理検査室 化学療法室・患者図書室・看護外来	
3	F	放射線科・内視鏡室・血液浄化室・健診センター・歯科	
2	F	内科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻咽喉科・栄養相談室	
1	F	小児科・外科・整形外科・眼科・救急センター・入院前面談室 総合案内・窓口各種（初診／計算／会計／書類／入院） カフェテリア・花屋／雑貨・銀行ATM 総合相談窓口・地域医療連携センター・がん相談支援センター	
B 1	F	駐 車 場 ※入院患者さん専用の駐車場はありません。	
B 2	F		
B 3	F	放射線科（CT MRI）・コンビニ・理容室	

13	F	レストラン そば処 美庵	平日 11:00 ～ 17:00 ランチ 14:00まで オードーストップ 16:30 土日祝 定休日
1	F	カフェテリア 「カフェブルック」	平日 8:00 ～ 16:30 第2・4土曜日 8:00 ～ 16:00 第1・3・5土曜日 10:00 ～ 16:00 日曜日・祝日 定休日
		花屋／雑貨 「フラワー華実」 ※宅配便取扱	平日 9:30 ～ 17:30 第2・4土曜日 9:30 ～ 16:00 第1・3・5土曜日 10:00 ～ 16:00 日曜日・祝日 12:00 ～ 16:00
		銀行ATM (横浜銀行・スルガ銀行)	平日 9:00 ～ 18:00 土曜日 9:00 ～ 17:00
		コンビニ 「ローソン」 ※宅配便取扱・コピー機	平日 7:00 ～ 19:00 土・日曜日・祝日 7:00 ～ 17:00
B 3	F	理容室（要予約）	平日・土曜日・祝日 9:00 ～ 18:00

※状況により時間等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

会計の待ち時間をゼロに!

待たずに ラク~だ



診察が終わったら少しでも早く帰りたい…

「待たずにラク~だ」は、医療費を後払いにすることで、
会計を待たずにすぐにお帰りいただけるサービスです。

登録 &
利用料
無料

登録 ラク~だ



下記ご利用登録
サイトで、診察券番号や
お手持ちのクレジットカード
情報を登録するだけ。
(初回のみ)

通院 ラク~だ



会計待ちがないので、
お身体への負担や、
付き添う方の
待ち時間も軽減。

支払い ラク~だ



かかった医療費は
後日メールでお知らせ。
お支払いは
クレジットカードで安心。

クレジットカードは5大国際ブランドに対応しています。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。

診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。



待たずにラク~だ ご利用登録サイト
<https://s3.medicalpay.jp/keiyu/new/>



※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください(wi-fiオフ等)

待たずにラクへだ ご利用手順



1

受付



再来受付機で受診受付時に、後払いサービスの利用受付をしてください。

2

診察



従来通り診察へ。終了後に処方箋、予約票などを受け取ります。

3

帰宅



外来基本票を会計窓口へ提出してください。会計を待たずにそのまま帰宅できます。

◎ご利用には、事前の登録が必要です。パソコンやスマートフォンから登録が可能です。

◎利用受付をしない場合、サービスご利用はせず、通常通り会計窓口のお支払いとなります。

◎入院費のお支払いにもご利用できます。退院時の待ち時間が軽減されます。

◎医療費はご登録いただいたメールアドレスに、支払い完了通知でお知らせいたします。

◎領収書・明細書が必要な場合は、支払い完了後、院内の専用領収書発行機で発行することができます。

◎領収日は決済日になりますので、年末の受診は翌年の領収日になります。年内の領収日を希望する場合は、通常通り会計窓口でお支払いください。

◎個人登録情報は、決済完了メールにリンクされている登録変更URLでいつでも変更できます。

ご不明な点は右記まで
お問い合わせください



けいゆう病院 1階会計(問い合わせ窓口)

TEL:045-221-8181 (代表)

(平日 9:00~16:00)

スマートな受診・スピーディーな通院

患者サポートアプリ



PokeMed
— ポケメド —



もちろん
無料



混雑を避けて 快適な通院をサポート

待ち人数が確認できるので、
順番まで好きな場所で
過ごしていただけます。

自動決済なので、
会計待ち時間もありません。



家族の受診を管理して ストレス軽減

ご家族の診察券をアプリ内で
一括管理でき、持ち歩く必要
がありません。

ご家族の診察予約や領収書
もアプリから確認できます。



ラク〜だ(後払い決済)を利用 して院内滞在時間の削減

クレジットカードをご登録頂く
ことで窓口負担が自動決済
されます。

決済後に請求情報をアプリで
確認できるので安心です。

サービスをご利用頂くには、窓口での事前登録が必要です。



アプリをスマホに
無料でダウンロード!

ポケメド

検索

QRコードを読み込むと、ダウンロード画面が表示されます。

iOS版



Android版



01

アプリをダウンロード

スマートフォンやタブレットで「PokeMed」のアプリをダウンロードし、アカウント情報を登録します。



02

医療機関窓口で利用登録

アプリに基本情報を入力し、医療機関の窓口で利用登録をします。



03

ラク〜だ(後払い決済)登録(任意)

受診時のお支払いを後払い決済にしたい場合は、ラク〜だの登録もしてください。(任意)
登録済の方は不要です。



主な機能

モバイル診察券
診察待ち人数表示

予約状況確認
お知らせ受信

請求履歴の確認
領収書等確認機能

- ひとつのアカウントに、同居ご家族のアカウントを追加できます。
登録情報は、このアプリからいつでも変更できます。
- 利用できる機能は、医療機関ごとに異なります。



けいゆう病院 総合案内（問い合わせ窓口）

TEL : 045-221-8181（代表）

※平日 9:00～16:00

交通のご案内

電車

みなとみらい線

みなとみらい駅

2・4番出口

徒歩3分

JR線・市営地下鉄線

桜木町駅

動く歩道経由

徒歩15分

バス

桜木町駅前 3番のりば

横浜市営バス 156系統・292系統

けいゆう病院バス停下車

車

首都高速神奈川1号横羽線

みなとみらい出口

約500メートル



一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院

横浜市西区みなとみらい3丁目7番3号

TEL 045 (221) 8181 (代)

<https://www.keiyu-hospital.com>

